

小学校教育用コンピュータ等更新事業

事業目的

児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、また、必要な情報を主体的に収集・判断・処理・編集・創造・表現・発信・伝達できる情報活用能力を育むために、環境整備の推進（継続）を図り、快適な環境で学習ができることを目指します。

事業概要

○ 教育用コンピュータ及び教育用ソフトの整備

平成24年度から引き続き2カ年計画で、全小学校パソコン教室等における教育用コンピュータ及びソフトの更新を行い、情報システムの最適化を図ります。

《 整備機器 》

パソコン、サーバ、プリンタ、授業支援ソフト など

《 整備台数 》

・児童用パソコン：349台 ・サーバ：各校2台 ・プリンタ：各校1台
・授業支援ソフト：各校1式 など

《 整備計画 》

平成24年度：5校（三会小～湯江小 整備済み）

平成25年度：5校（第一小～第五小）



事業費	25年度予算額 （うち、一般財源）		全体事業費
	56,900千円 (56,900)		102,900千円
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	買取りによる更新 年次計画1年目 三会小～湯江小整備	買取りによる更新 年次計画2年目（最終年） 第一小～第五小整備	—

〔新規〕非構造部材耐震化事業

事業目的

小中学校施設は、多くの児童生徒等が一日の大半を過ごす学習、生活等の場であるとともに、災害時には防災拠点の役割を果たすことから、安全で豊かな環境を確保することが必要不可欠になります。市内学校施設の耐震補強工事は平成24年度をもって完了しますが、さらに体育館天井部材の落下防止対策等をはじめとした非構造部材の耐震対策の取組が必要となります。

そこで、平成27年度までに屋内運動場の整備を実施します。

以降、校舎の非構造部材の耐震化に順次取り組みます。

事業概要

《事業期間》 平成25年～

《事業内容》 屋内運動場の非構造物の耐震化

- ・天井ネットの設置（照明補強含む）
- ・内壁改修（バスケットゴール、設備補強含む）
- ・窓改修
- ・外壁改修
- ・その他（床改修、屋根塗装）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
工程 及び 事業 費	非構造物耐震化の設計 小学校 4 校 中学校 3 校	非構造物耐震化工事 小学校 4 校 中学校 3 校	
		非構造物耐震化の設計 小学校 5 校 中学校 2 校	非構造物耐震化工事 小学校 5 校 中学校 2 校

天井補強状況



木毛板落下防止
ネットの取付



天井補強状況

事業費	25 年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	11,300 千円 (11,300)		899,000 千円
年度別 事業内容	前年度まで	25 年度	次年度以降
	—	上記事業計画に同じ	上記事業計画に同じ

〔新規〕校庭芝生化事業

事業目的

児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を造成します。小学校よりモデル校を選定して、地元住民が主体となって校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組みます。

事業効果として、以下の点が期待されます。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| ①体育活動の活発化 | ④ストレスの軽減 | ⑦夏場の地温上昇の抑制 |
| ②外遊びの増加 | ⑤校庭用途の多様化 | |
| ③けがの防止 | ⑥砂塵飛散防止 | |

事業概要

学校育友会等地元住民を実施主体として、芝生の育苗から運動場の植え込み、施肥、散水等の作業を実施します。

校庭芝生化導入スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間行事	春休み ↔				夏休み ↔					冬休み ↔		春休み ↔
ポット芝作り		↔										
ポット芝育成		↔	↔									
グラウンド植込			↔									
施肥	ポット苗時に2回散布			月1回程度								
水やりの目安	適時	適時	適時	毎日	毎日	毎日	毎日					適時
芝刈りの目安	適時	適時	適時	適時	週1回	週1回	適時	適時				適時



植え込み作業の状況



はだしあそびの状況

事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	760千円 (760)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	—	上記事業概要に同じ	—

教育総務グループ

小・中学校就学援助事業

事業目的

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により困られている家庭に対し、就学援助の制度により支援することで、健康で学びに専念できる環境（学校、家庭）を充実させ、将来を担うこども達の健全な「人づくり」を目指します。

事業概要

援助を受けられる費用

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 学用品・通学用品費（全 員） | 6 学校給食費（全 員） |
| 2 新入学用品費（新1年生のみ） | 7 通 学 費（公共交通機関を利用する場合） |
| 3 社会科見学活動費（参加する場合） | 8 医 療 費 |
| 4 校外活動費（参加する場合） | |
| 5 修学旅行費（参加する場合） | |

学校から治療を指示されて、
トラコーマ、結膜炎、白せん、かいせん、
膿痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎、アデノイド、
う歯、寄生虫病の治療をする場合

認定者数及び認定率の推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度（見込み）
認定者数（年度末）	668 人	644 人	635 人	605 人
認定率（年度末）	15.4%	15.4%	15.8%	15.4%

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	57,085千円（56,815）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	上記8項目の費用を、対象者 に対して就学援助。	左に同じ	引き続き実施予定

外国語指導助手招致事業

事業目的

小・中学校の児童・生徒が外国語指導助手（ネイティブ・スピーカー）の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。

事業概要

- 《事業概要》 配置人数 4名（全小・中学校対象）
 ベース校 一中、二中、三会中、有明中
 活動内容 ①授業中における支援
- ・教科担任のアシスタントとして授業をサポートします。
 - ・授業中に児童・生徒に対して、積極的に働き掛け実践力を身に付けさせます。
- ②授業内容の計画作成における連携
- ・教科担任からの要望により、指導案を共に作成し、授業での役割分担を明確にします。
- ③教材研究
- ・児童・生徒の実態に即した教材を作成します。

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	18,552千円（18,552）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	①授業中における支援 ②授業内容の計画作成における教科担任との連携 ③教材研究	前年度と同じ	引き続き実施予定

学校教育グループ

中学生海外訪問交流事業

事業目的

中学3年生を対象とし、夏季休業中にシンガポール（平成6～21年度までは韓国、平成22～24年度は中国）を訪問し、現地の教育施設等の見学や中学生との交流活動を通して、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うとともに、将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指します。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 交流国 シンガポール（平成25年度から）

人 数 15名

交流日数 4泊5日

活動内容 ①現地の中学校における交流会

・交流内容 歓迎レセプション・校内見学

1対1の交流

（英語での自己紹介及び島原紹介）

②各所旧跡や教育文化施設の視察及び見学

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	4,680千円（2,352）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	平成6年度から21年度までは韓国との相互訪問による交流 平成22年度から24年度までは中国への訪問交流 現地中学生との交流や教育施設等の見学を行った。	前年度と同様、市内中学生から参加者の募集をする。 平成25年度から訪問交流先をシンガポールに変更する。	引き続き実施予定

学校教育グループ

不登校児童生徒適応指導事業

事業目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童・生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 名称 適応指導教室「ひまわり教室」

開 室 日 毎週月曜日から金曜日までの週5日

開室時間 午前9時30分～午後3時30分

活動内容 ①児童・生徒に対する支援

- ・ 集団適応活動
- ・ 生活リズム及び学習習慣定着のための活動

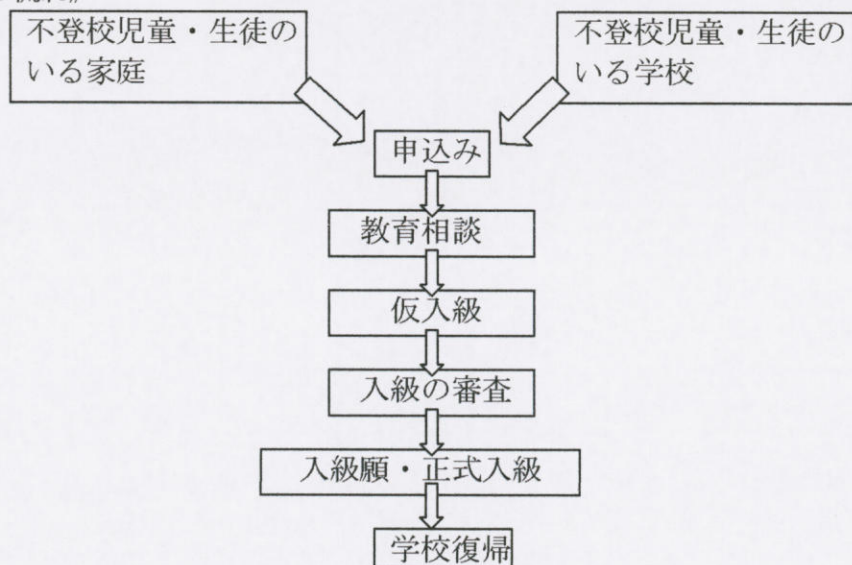
②保護者への支援

- ・ 個別の教育相談

③在籍校への支援

- ・ 通級児童生徒の対応について学校との連携

《事業の流れ》



事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	2,362千円 (2,362)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	相談員2名を配置	前年度と同じ	引き続き実施予定

学校教育グループ

学校司書配置事業

事業目的

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより深く生きていくうえで欠くことのできないものです。

そこで、学校図書館の環境整備を充実させたり、児童・生徒や教職員に適切な情報提供を行ったりすることができる「学校司書」を配置することで、学校図書館を活性化し、児童・生徒の読書活動の推進を図ります。

事業概要

《事業概要》 勤務 週3日 (年間) 123日程度

勤務時間 1日6時間

活動内容 ① 経営的活動

- ・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計
- ・図書ボランティアとの連携

② 技術的活動

- ・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理

③ 奉仕的活動

- ・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施
- ・図書相談、学習資料の提供、広報活動

④ 教育的活動

- ・図書委員や図書館使用学級への援助
- ・司書教諭や担任との連携

事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	9,052千円 (9,052)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	小学校は平成21年度から、中学校は、平成22年度から各1名配置	小・中学校へ各1名配置	引き続き実施予定
	【平均貸出冊数】		
	小 中		
	H20年 73.3冊 3.2冊		
	H21年 76.9冊 2.5冊		
	H22年 75.3冊 5.5冊		
	H23年 87.0冊 5.4冊		

学校教育グループ

特別支援教育支援員事業

事業目的

小・中学校の通常学級に在籍し、学習や生活の面で特別な支援が必要な児童・生徒に対して、個々のニーズに応じた支援を行うことにより、学校生活に適応できるようにします。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 配置人数 14名（全小・中学校）

勤務 週5日 年間175日

勤務時間 1日5時間

活動内容 ①学習面における支援

- ・聞くことに困難を示す児童・生徒に対して、教師の話を繰り返して聞かせる。
- ・授業中に落ち着きのない児童・生徒に対して、声かけ等を行い、授業に集中できるようにする。等

②生活面における支援

- ・自分の持ち物の把握が困難な児童・生徒に対して、整理場所を教える等の支援を行う。
- ・友達とうまくコミュニケーションがとれない児童・生徒に対して、声かけ等を行い、うまく関わるができるようにする。等

③周囲の児童・生徒の障害理解促進

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	8,704千円（8,704）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	全小学校と二中、三中、三会中、有明中に配置。	一中に新しく配置し、全小学校と全中学校に配置。	引き続き実施予定

学校教育グループ

幼児ことばの教室設置事業

事業目的

言葉に障害のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、障害の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長を目指します。

事業概要

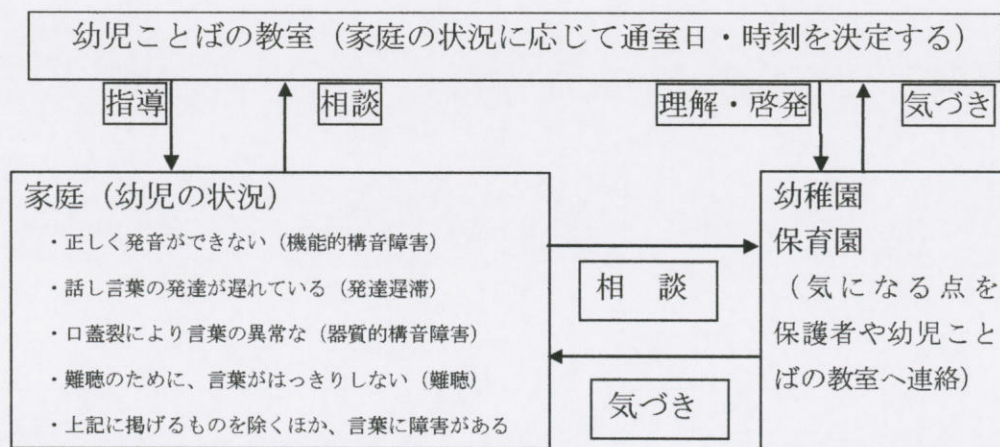
《事業主体》 島原市

《事業概要》 設置場所 島原市萩が丘二丁目5688番地（第二小学校内）

開設日時 週4日（火曜～金曜）

勤務時間 1日4時間

活動内容 相談員1名配置し、下図のような連携を図りながら指導・相談を行います。



事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	884千円 (884)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	相談員1名配置	前年度と同じ	引き続き実施予定

学校教育グループ

外国語活動支援員事業

事業目的

市内小学校を定期的に巡回し、外国語活動の授業の補助、教材の作成、ALT（外国語指導助手）の支援を行うことにより、外国語活動の授業を充実させるとともに、教員やALTの指導力の向上を図ります。

そして、日本と外国の言語や文化についての理解を深め、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができる児童を育成します。

事業概要

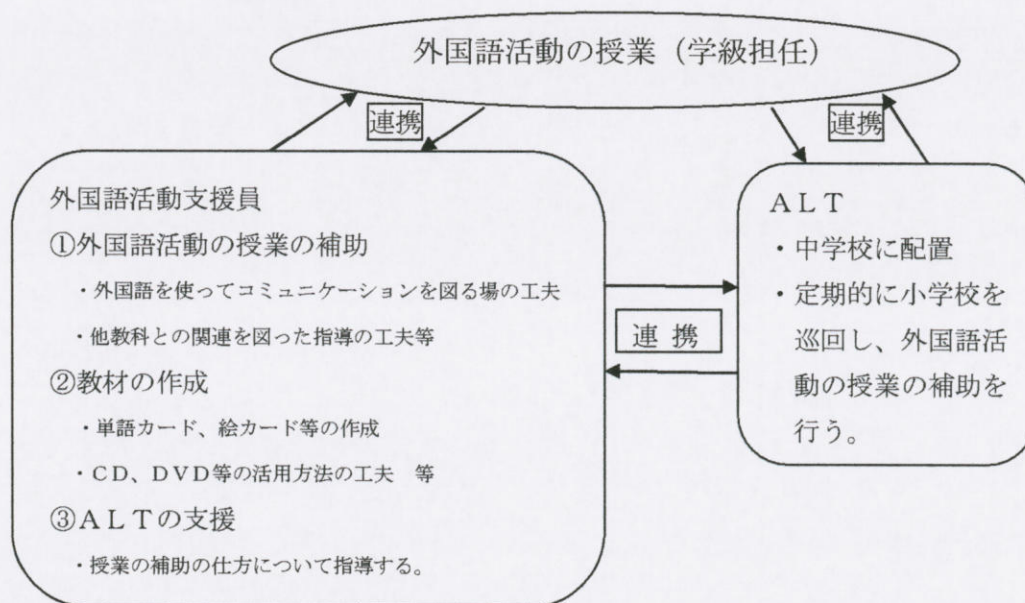
《事業主体》 島原市

《事業概要》 配置人数 1名

勤務 週5日 年間200日

勤務時間 1日6時間

活動内容



事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	1,062千円（1,062）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	新規事業として24年度 1名配置	前年度と同じ	引き続き実施予定

学校教育グループ

心の教室相談員配置事業

事業目的

中学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者を生徒の身近に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供するため、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。

事業概要

《事業主体》 島原市

《事業概要》 配置人数 5名（全中学校に各1名）

勤務時間 3校 週4日 1日5時間

2校 週3日 1日4時間

活動内容 ①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。

また、生徒のみならず、保護者との関わりを含めた相談活動の実践に努めます。

不登校ぎみの生徒については、特に電話等を活用した家庭との連携を密にした相談活動を目指します。

②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。

③その他、学校の教育活動の支援を行います。

事業費	25年度予算額（うち、一般財源）		全体事業費
	3,216千円（3,216）		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	中学校5校に配置	前年度と同じ	引き続き実施予定

学校教育グループ

島原市民体育祭

事業目的

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため本大会を開催する。

事業概要

- 《事業主体》 島原市・島原市教育委員会・島原市体育協会
- 《事業期間》 ○大運動会 平成25年10月13日(日)
○各種競技会 平成25年10月 6日(日) ※集中開催日
- 《事業内容》 ①大運動会
- ・各地区交付金(7地区×150千円=1,050千円)
 - ・交通指導員・ブラスバンド謝礼等
 - 選手団・楽器等輸送費等
 - ・その他消耗品等
- ②各種競技会(平成24年度は21競技を開催)
- ・会場借上料(ボウリング競技)
 - ・その他消耗品等



事業費	25年度予算額 (うち、一般財源)		全体事業費
	3,000千円 (3,000)		—
年度別事業内容	前年度まで	25年度	次年度以降
	上記事業内容と同じ	上記事業内容と同じ	引き続き実施予定